



「海の魅力を体感しに来てください」と呼び掛ける宮本勉造さん



北浜海水浴場 (唐津市)

砂浜を彩る特大ブランコ

「コロナ下の3年間も営業を続けてきましたが、お客さまはそれほど多くありませんでした。天気に恵まれ、大勢の方が来てくだされば」。唐津市湊町の北浜海水浴場にある海の家「あいらー」の店長・宮本勉造さんは、この夏の盛り上がりを楽しんでいます。

佐賀県が海水浴シーズン前に毎年水質の調査を行っています。県内最高の「Aレベル」の水質の海水浴場です。ドーム型の屋根の休憩所の前には、パラソル型の休憩スペースがずらりと並んでいます。

「わあっ、これはいいな」と思ったのは、海の家前の砂浜にある特大のブランコです。約5年前に設置したそうで、土台の丸太は、高さ5mほどはありそうです。若い女性客の方が撮影のモデル役になってくださいましたが、青い海を望むロケーションのよさにうっとりしました。子どもたちも間違いなく思い出の写真が撮れそうです。

人気のバーベキュー(3日前までに要予約)は1人前3000円で、海鮮が加わると4000円ですが、海の家使用料、シャワー代も含まれるのでかなりお得です。「SNSに海の写真を載せていますが、その素晴らしさを伝えるのに写真では限界があります。実際にこちらに来て海の魅力を体感してください」と宮本さん。人気のブランコとともにお客さまをお迎えします。

北浜海水浴場 海の家「あいらー」

■住/唐津市湊町 ■電/080-4405-1507
 ■海の家使用料(シャワー含む)/大人800円、子ども400円(小学生未満無料)
 ■駐車料1日500円 ■IG/@irie_umino_ie

相賀の浜海水浴場 (唐津市)

青い空、さわやかな潮風、幾重にも寄せては返す波…。「ああ、やっぱり海はいいなあ」と実感します。唐津市の相賀の浜海水浴場。こちらもお隣の「北浜」と同じく海の水は透き通る美しさで、評価「A」の水質の海です。緩やかにカーブを描く砂浜が1キロ以上続いています。

「唐津の海の家は、うちが約70年の歴史で一番古いんですよ。最初は市営で、その後、地元漁師さんが担われ、さらに私の父親が引き継ぎました。私は2代目です」。この仕事に携わって40年余りにな



水質は県内最高の「A」レベルで、よく透き通っている = 唐津市の相賀の浜海水浴場



相賀の浜海水浴場 海の家「松風」

■住/唐津市相賀
 ■海の家使用料(シャワー含む)/大人(中学生以上)800円
 小学生500円、幼児300円 ■駐車料1日500円

特集

夏を楽しもう 海・山・人気スポットへ

「待ちに待った夏」と言っても過言ではないでしょう。新型コロナの影響で長らく外出自粛を余儀なくされましたが、この夏、その重苦しかった雰囲気は一変しています。「これまで我慢した分まで楽しもう」と積極的に計画を立てている方も多いと思います。今回の特集では、海、山、レジャー施設など近場の人気スポットを紹介します。

大手旅行会社JTBがアンケートや経済指標などをもとに推計した夏休み(7月15日~8月31日)の旅行動向によると、国内と海外を合わせた総旅行人数は7370万人(前年比17.8%増、2019年比2.3%減)。うち国内旅行人数は7250万人で、ほぼコロナ前の水準まで回復し、国内旅行消費額は2兆9千億円、その平均費用は4万円になるとみられています。旅行目的は「家族と過ごす」(10.9%)が最多で、帰省(10.0%)、温泉でゆっくりする(9.8%)と続いています。物価高騰が暮らしを直撃する一方、わずかながら収入の増加傾向がみられ、趣味や旅行などにかける費用についても前向きにとらえる人が増えているようです。

脳裏に刻まれている「記憶の風景」は、人それぞれだと思いますが、夏の思い出がいっぱいという方も多いことでしょう。杵島郡白石町で育った自分にとって、幼少期の思い出の一つは、家族や地区の皆さんと一緒に出掛けた唐津の海です。車で1時間ほど。いつも見ている田んぼの風景から一変し、広々とした青い海に心が躍ります。到着後、海水パンツに着替えてすぐに砂浜へ。ザボン、ザボンと幾重にも波が打ち寄せてきます。「海の水は本当に塩辛いんだなあ」と思いつつ、浮き輪を着けて泳いだり、砂浜に穴を掘ったり…。半世紀たったいまも記憶をたどれるのは、よほど楽しかったからなのでしょう。この夏、新型コロナで我慢続きだった子どもたちに、さまざまな楽しみを経験してほしいと思います。

砂浜には大きなブランコがあり、遊びながら美しい海を眺めることができる = 唐津市の北浜海水浴場

OUTDOOR

屋外で過ごす 楽しさ知って

ベースキャンプ
青柳龍之介店長



「分からないことは何でも相談して」と話す青柳龍之介店長 = 佐賀市神園のベースキャンプ

「分からないことは何でも相談して」と話す青柳龍之介店長 = 佐賀市神園のベースキャンプ

—— 周りにキャンプをしている方がいらっしやる場合は、その人から話を聞くことをお勧めします。一方、そうでない時は、キャンプをしている方のSNSなどを見て、「こういうのをやってみよう」「この人の世界観が好きだ」というところから入っていくのもいいと思います。最初は分



「さが水ものがたり館」にあるキャンプ場。利用は無料だが、1週間前までの予約申し込みと「お約束」(誓約書)の提出が必要になる = 佐賀市大和町



家族連れに人気の吉野山キャンプ場 = 佐賀市三瀬村

キャンプブームが続いています。現在の状況をどう見ているか。

—— 実はキャンプに関しては、昨年、一昨年が最盛期のタイミングだったと思います。新型コロナウイルスが広がる直前に人気が火が着き、コロナ下で人との距離を保つことが求められる中で一気に広がったというのが実感です。いまは、そのタイミングでキャンプ道具を購入された方たちが、実際にキャンプに出掛けられ、その道具をしっかりと使われています。お店には、県内はもちろん、福岡、長崎、熊本、大分などからたくさんのお客様に来ていただいています。独自の世界観を出したい」といった思いから、ソロキャンプを始める方は佐賀でも増えています。一方、家族で始める方には「子どもに屋外の楽しさを感じてほしい」「大きなテントでワイワイやりたい」といった方が多いようです。キャンプを始めたかと思っている人にアドバイスをお願いします。

家族で楽しむハイキング おすすめの佐賀県の山

	標高	登山口	登りの所要時間(成人)	眺望など
天山	1,046m	小城市小城市・九合目登山口	約50分	南側に佐賀平野、有明海が広がる
井原山	982m	佐賀市富士町・古場 漢流の里入口	約1時間	PayPayドームなどが見える
多良岳	996m	藤津郡太良町・中山キャンプ場	約1時間半	有明海、雲仙の山々を眺望
土器山	430m	神埼市神埼町・土器山 八天神社	約1時間	緑豊かな佐賀平野を展望
作礼山	887m	唐津市殿木町・九合目駐車場	約20分	山の上に二つの池がある
金山	967m	佐賀市三瀬村・山中キャンプ場	約1時間半	変化に富んだ登山道



海もいいですが、やはり山も魅力的です。この夏、家族でハイキングやキャンプに行くならどこがいいのか。NPO法人「SAGAアウトドアガイドクラブ」顧問で佐賀新聞文化センターの提携講座「大人の遠足ハイキング入門」の講師を務めている池田俊明さんと同クラブ事務局の岩田達也さん、登山・キャンプ用品専門店「ベースキャンプ」(佐賀市)の青柳龍之介店長に佐賀県内のおすすめの山などを聞きました。



井原山の山頂付近。登山道は比較的緩やかで、ハイキングを楽しむ人が多く訪れている

家族みんなで 思い出に残るハイキングを

SAGAアウトドアガイドクラブ

池田俊明さん 岩田達也さん

家族で登るのにおすすめの山を6つ紹介します。佐賀県内で最も高いのは、長崎県との境に位置する経ヶ岳(1,075m)ですが、ここは少しハードなので、今回は外しています。県内には初心者からチャレンジできる山がたくさんあります。その代表格は天山です。井原山は、佐賀市の小学5年生のほとんどが宿泊学習で登る山で、天気の良い日は山頂からpaypayドームや福岡タワーが見えます。初めて登った人からは、必ずと言っていいほど感動の声が聞かれます。

車をどこに駐車し、どこから登ればいいのか。登山口を紹介するともに、登りにかかる成人の所要時間(休憩を含まない)を紹介していますので、参考にしてください。一般的に山を下るときは、急坂であればあるほど、所要時間は登りの時よりは短縮されます。県外のおすすめも紹介します。一つは、福岡県の太宰府の裏側に位置する宝満山です。ここは九州で一番登山者が多いといわれているところ、登って行けば平日でも10〜20人とすれ違うはず。福岡県北九州市の平尾台も人気です。ここは石灰岩の台地で、散策後は近くの千仏鍾乳洞にぜひ行ってみてください。入り口にゴムぞうりが置いてあり、靴を脱いで履き替えます。洞内には水が流れています。これがびっくりするほどの冷たさで、子どもたちが驚くこと間違いなしです。夏は汗をいっぱいかくので、近場の温泉ですっきりして帰るのもいいかもしれません。

ハイキングに行くときは、なるべく早く午前6〜7時ぐらいには自宅を出るようにしましょう。暑い時なので、飲み物は少なくとも1人1本は必要です。家族とはぐれないように、お互いが目の届く範囲で歩いてください。目的地へのコースが不安になったら、無理をせず、元のところに戻ってください。

アウトドアガイドクラブでは、皆さんの参加協力をいただきながら、山を守るためのボランティア活動も行っています。次回は9月10日(日)、天山の登山道整備を行います。興味のある方は9月8日(金)までにお申し込みください。



「県内には家族でハイキングを楽しめる山がたくさんあります」と話す池田俊明さん(右)と岩田達也さん = 佐賀市のSAGAアウトドアガイドクラブ

—— 自然に恵まれている県内には、たくさんあるキャンプ場があります。お客様やスタッフにも聞きましたが、佐賀市内では吉野山キャンプ場(三瀬村)が人気です。「さが水ものがたり館」(大和町)に併設のキャンプ場からは脊振山系の景色が見渡せます。近くに大型商業施設があるので、パーベキューの買い出しなどにも便利そうです。武雄市の北方ベースキャンプフィールドはオープンしたばかりです。同じ武雄市の眉山キャンプ場も人気があります。ここは7月から10月までの期間限定の開設です。

登山の情報になりますが、ベースキャンプでは、身近な山に親しんでもらうため、「山ピンゴ」という取り組みを始めました。ピンゴカードには、初心者からでも登りやすいおすすめの名山を並べていますが、そう簡単にピンゴにならないように工夫しています。ぜひチャレンジしてみてください。

佐賀県内で人気のキャンプ場を教えてください。

—— 自然に恵まれている県内には、たくさんあるキャンプ場があります。お客様やスタッフにも聞きましたが、佐賀市内では吉野山キャンプ場(三瀬村)が人気です。「さが水ものがたり館」(大和町)に併設のキャンプ場からは脊振山系の景色が見渡せます。近くに大型商業施設があるので、パーベキューの買い出しなどにも便利そうです。武雄市の北方ベースキャンプフィールドはオープンしたばかりです。同じ武雄市の眉山キャンプ場も人気があります。ここは7月から10月までの期間限定の開設です。



ベースキャンプが始めた「山ピンゴ」のカード



夏休みは家族で楽しい時間を過ごす絶好機です。ちょっとだけ足を伸ばせば、楽しさいっぱい、非日常を体験でき、勉強にもつながるスポットがいっぱいです。

佐賀県立美術館 (佐賀市)

不思議な光とアートの世界 魔法の美術館



8月27日まで開かれている「魔法の美術館」。不思議な光とアートの世界が楽しめる = 佐賀市の佐賀県立美術館



手を動かすことで、七色のボールを動かすこともできる

佐賀県立美術館
 ■住/佐賀市内1-15-23
 ■問/0952-28-2151 (佐賀新聞プランニング)
 ■入場料/一般 1,100円
 子ども 500円、ペア (一般 + 子ども) 1,500円



会場に一歩足を踏み入れると、そこは不思議な光とアートの世界。自分自身の動きに合わせて、さまざまに表情を変える作品と出合うことができます。まるで自分が魔法使いになったかのような不思議な気分です。佐賀市の佐賀県立美術館では、新感覚の体験型アートが楽しめる「魔法の美術館」(佐賀新聞社主催)が開かれています。国内外で多くの来場者を集めている「メディアアート」の展覧会で、デジタル映像やアニメーションなどの分野で活躍しているクリエーター9組の15作品が並んでいます。体を動かしながら直観的に遊ぶことができる作品がいっぱい。画面に映り込んだ自分の影を動かして七色の大きなボールを飛ばしたり、動いた通りに映し出される七色の自分の影の大きさを変えたりすることができます。自分の映像がもとになり、体や首が伸びた映像に瞬時に変わるコーナーでは、子どもたちの歓声が上がっていました。大人も一緒に楽しんでくれるものばかりです。写真・動画撮影、SNS投稿は自由です。子どもたちが遊んでいる様子をたくさん撮ってください。周りのみなさんに見て触れて遊ぶ楽しさを伝えてください」と話しています。会期は8月27日まで。

会場に一歩足を踏み入れると、そこは不思議な光とアートの世界。自分自身の動きに合わせて、さまざまに表情を変える作品と出合うことができます。まるで自分が魔法使いになったかのような不思議な気分です。佐賀市の佐賀県立美術館では、新感覚の体験型アートが楽しめる「魔法の美術館」(佐賀新聞社主催)が開かれています。国内外で多くの来場者を集めている「メディアアート」の展覧会で、デジタル映像やアニメーションなどの分野で活躍しているクリエーター9組の15作品が並んでいます。体を動かしながら直観的に遊ぶことができる作品がいっぱい。画面に映り込んだ自分の影を動かして七色の大きなボールを飛ばしたり、動いた通りに映し出される七色の自分の影の大きさを変えたりすることができます。自分の映像がもとになり、体や首が伸びた映像に瞬時に変わるコーナーでは、子どもたちの歓声が上がっていました。大人も一緒に楽しんでくれるものばかりです。写真・動画撮影、SNS投稿は自由です。子どもたちが遊んでいる様子をたくさん撮ってください。周りのみなさんに見て触れて遊ぶ楽しさを伝えてください」と話しています。会期は8月27日まで。

佐賀県立宇宙科学館 (武雄市)

壮大な宇宙の魅力を感じ



プラネタリウムでは本物に近い星空を体験できる = 武雄市の佐賀県立宇宙科学館



プラネタリウムの番組では国際宇宙ステーションのことも学べる

佐賀県立宇宙科学館
 ■住/武雄市武雄町永島 16351
 ■電/0954-20-1666
 ■営/9:15~17:15(平日) 9:15~18:00(土日祝)
 ■https://www.yumeginga.jp/ ※観覧料はHPで確認ください

「宇宙や地球のこと、佐賀の自然について幅広く知りたい」。そんな子どもたちにぴったりなのは、来年で開館25周年を迎える佐賀県立宇宙科学館(武雄市)です。「参加や体験」を中心に、科学の面白さや楽しさを体感できます。武雄温泉保養村の緑に包まれ、池ノ内湖のほとりに位置する宇宙科学館は、まるで宇宙基地のような外観です。宇宙への夢とロマンを育む「宇宙発見ゾーン」、奇跡の惑星(ほし)・地球について学ぶ「地球発見ゾーン」、佐賀の自然について学べる「佐賀発見ゾーン」の3つのゾーンに加え、プラネタリウム、天文台があります。バラエティーに富んだワークショップやサイエンスショーも行われています。家族みんなでぜひ体験してほしいのは、この3月にオーバードームを実施したプラネタリウムです。街灯りが少なかった頃に見えていたような自然な星空をよりシャープに再現できるようになっており、本物に近い星空を体験できます。天文台では、大型望遠鏡で迫力ある太陽や季節の星、惑星を観察できます。年に3回、企画展を行っており、この夏の企画展は「ウーたんゲームスー宇宙編」です。宇宙科学館のオリジナルキャラクター「ゆめぎんが★ウーたん」とともに、懐かしさも新しいさもある手作りのゲーム約20種類が体験できます。



9月3日まで企画展「ウーたんゲームスー宇宙編」が開かれています

北九州市立いのちのたび博物館 (北九州市)

迫力満点！ 恐竜たちの骨格標本



新たに展示が始まったスピノサウルスの骨格標本 (キガノトサウルス協力: 国立科学博物館 スピノサウルス: Courtesy of The University of Chicago)



迫力満点のティラノサウルスとトリケラトプスの骨格標本 = 北九州市立いのちのたび博物館

北九州市立いのちのたび博物館
 ■住/北九州市八幡東区東田 2-4-1
 ■電/093-681-1011
 ■営/9:00~17:00 (入館は16:30まで)
 ■https://kmnh.jp
 ※観覧料はHPで確認ください

「かつて地球上を支配していた恐竜のことを学びたい」。そんな恐竜好きの子どもたちにおすすめるのは、昨年11月に開館20周年を迎え、この3月にリニューアルオープンした北九州市立いのちのたび博物館です。「いのちのたび」をコンセプトに自然史分野・歴史分野が一つになった西日本最大級の博物館です。46億年前の地球誕生から現代にいたるまでの自然と人間の歴史を壮大なスケールで展開しています。が、やはり目を引くのは一堂に並ぶ恐竜たちの骨格標本です。「アースモール」と呼ばれる奥行約100mの大展示室には、全長約15mの大型肉食恐竜「スピノサウルス」や、絶滅したオオナマケモノの仲間、体長約4mの「エレモテリウム」といった大型骨格標本が加わりました。開館当初から人気を集めている「ティラノサウルス」や「トリケラトプス」も健在で、ますます迫力が増えています。このほか、動く恐竜ジオラマなども魅力いっぱい。館内の展示には、実際に触ったり匂ったりできるものもあり、見るだけでなく体感できる展示になっています。この夏は特別展「恋するいきもの展」(9月18日まで)も開催中です。求愛や配偶者をめぐる闘争など生き物の繁殖生態に焦点を当て、多様な「かたち」や「行動」が進化してきた理由をわかりやすく解説しています。



夜のイワシショーは幻想的な雰囲気にも包まれる



夜のイルカショーは夜景をバックに繰り広げられる = 福岡市のマリンワールド海の中道



ペンギンへのエサやりを体験する子どもたち

マリンワールド海の中道
 ■住/福岡市東区大字西戸崎 18-28
 ■電/092-603-0400
 ■営/ (8月) 9:30~21:00 (最終入館 20:00)
 ■https://marine-world.jp/
 ※入館料はHPで確認ください

「魚や動物たちの昼間とは違った夜の様子を見たい」。そう思っている子どもたちには、マリンワールド海の中道(福岡市)が夏季期間に実施している「夜のすいぞくかん」がおすすめるです。営業時間を午後9時まで延長。暗くなった水槽の中で生き物がどうしているのか、じっくりと観察することができます。魚や動物たちの中には、昼間によく動いて夜に体を休める種類がいる一方、夜行性の種類もいます。エビなどの甲殻類やサメなどは、暗くなってから動きが活発化するそうです。夜のイワシショーは、ミラーボールが放つ光と音楽に合わせて行われます。約2万匹のイワシが群れを成して泳ぐ姿は迫力です。メインイベントのイルカのショーでは、対岸の福岡市内の夜景をバックにイルカのダイナミックなジャンプが繰り広げられます。夏ならではの楽しみは、最後の「スプラッシュタイム」です。イルカたちが尾びれで来場者の皆さんに水しぶきをプレゼントしますが、ジャンプのときよりも2~3倍の激しさです。皆さんも濡れることをよくご存じで、着替えを持ってこられる方も多いそうです。もちろん、昼間も魅力いっぱい。ペンギンやイルカへの「えさやり体験」は、夏休み期間中は平日も行っていきます(要事前予約)。「夜のすいぞくかん」の入館入れ替えはなく、入館料は何時に入られても同じです。